

取組の名称 オリジナルキャラクター制作の取組

9月30日（金）～10月31日（月）

取組の概要 場所：啓北小学校ラーニングルーム

【ねらい】

児童の手によるオリジナルキャラクターの制作を通して、レジリエンスを広め、困難を乗り越える力を養うことにより、いじめの未然防止に係る態度を育成する。

【概要】

児童会代表委員会がレジリエンスの重要性を広めるためのオリジナルキャラクターを制作し、全校児童に名前募集を行った。選出されたキャラクターは、校内のポスターや児童会便りに活用した。

【児童の感想】

児童会活動が少ない中、全校の児童みんなで活動している意識がもてた。啓北小のいじめゼロのシンボルとして「れじびよ」を大切にしていきたい。



【オリジナルキャラクターの「れじびよ」】



【児童会便り作成の様子】

成 果

オリジナルキャラクターの制作と名前募集を行うことにより、全校児童で活動している意識が高まった。嫌な思い・いじめゼロへ向けて、高学年が低学年に学校での困りごとの解決方法をアドバイスするなど、自発的な取組が見られた。

取組の名称 「いじめ根絶ポスター」の紹介・掲示

12月～1月

取組の概要 場所：開西小学校校舎内

【ねらい】

「いじめ根絶ポスター」の作成を通して、全校児童にいじめは絶対に許さないという態度を育成する。

【概要】

児童会役員が中心となり、「いじめ根絶ポスター」を作成した。児童会役員が全学級を周り、ポスターに込めた思いや、いじめは絶対に許さないことについて説明した。また、作成したポスターは校内に掲示し、全校児童で共有した。

【児童の感想】

取組を通して、全校みんなが仲のよい学校、笑顔の溢れる学校にしなければという気持ちになった。



【各学級を回る児童会役員の様子】



【ポスターを紹介する児童会役員の様子】

成 果

ポスターの作成や掲示する理由を各学年に伝える活動により、いじめのない学校を自分たちでつくろうとする気運が高まり、いじめ根絶の意識を醸成することができた。

取組の名称 NO！いじめ月間の取組

11月30日（水）～12月23日（金）

取組の概要 場所：明和小学校各教室

【ねらい】

いじめの未然防止に向け、児童が主体的に取組を考えることを通して、いじめを生まない人間関係やいじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

【概要】

児童会書記局が中心となり、「NO！いじめ月間」において、ビンゴ大会といじめ防止ポスター作りを行った。

ビンゴ大会は、オンラインで開催し、クイズ形式にすることで仲間と協力しながら一つのことに取り組むことができるよう工夫した。

いじめ防止ポスターは、各学級で作成するとともに、校内に掲示し、全校で共有できるようにした。

【児童の感想】

全校でいじめは絶対にだめということを確認できた。



【オンラインビンゴ大会の様子】



【いじめ防止ポスター】

成 果

児童がいじめ未然防止に係る取組を主体的に行うことにより、他者を尊重することによってよりよい人間関係を築こうとする姿が見られたとともに、いじめは絶対許さないという意見が多く挙がり、いじめ根絶に向けた意識を高めることができた。

取組の名称 児童会主体の「ピンクアイテムデー」の取組

6月30日（木）、12月5日（月）

取組の概要 場所：森の里小学校

【ねらい】

児童会が主体となり、全校でいじめは絶対に許されないという意識を行動で示すことを通して、いじめを許さない態度の育成を図る。

【概要】

児童会三役が中心となり、年3回、全校児童がいじめ反対の意思表示としてピンクのアイテムを一つ身に付けて、1日過ごす「ピンクアイテムデー」に取り組んだ。

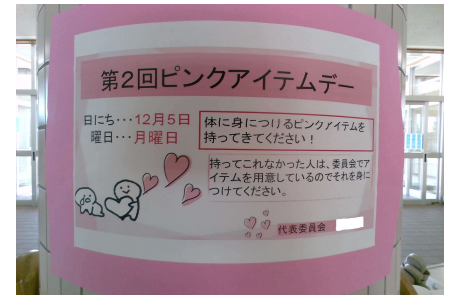
海外での取組を参考に、森の里小学校版の取組を考えて、全校児童に活動を呼びかけるポスターを掲示した。

【児童の感想】

「ピンクアイテムデー」を実施して、大きなケンカもなく、仲よく過ごしている人が多くなったと思う。



【ピンクアイテム】



【「ピンクアイテムデー」のポスター】

成 果

児童会を中心とした標語やポスターの作成を通して、いじめの未然防止について真剣に考える児童の姿が見られるようになるなど、いじめを絶対に許さない態度の育成につながった。

取組の名称 児童会主体の「いじめ根絶集会」の取組

1月16日(月)6校時

取組の概要 場所：つつじが丘小学校(オンライン)

【ねらい】

校区内の小・中学校において、児童会や生徒会の自主的な「いじめ根絶集会」を開催し、取組を交流することを通して、いじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

【概要】

児童会三役が中心となり、各小・中学校の取組内容をオンラインで交流し合った。本校はいじめ根絶を呼びかけるポスターの作成を報告し、中学校エリアが一丸となっていじめ根絶に向けた取組を継続して行っていくことを確認した。

【児童の感想】

他校の取組で、つつじが丘小学校でも取り組むことができそうなものは、すぐに取り組んでみたい。



【よびかけポスター】



【オンライン交流の様子】

成 果 小・中連携したいじめ根絶に向けた取組を継続することにより、中学校区内でのいじめ根絶の意識が高まったとともに、いじめを絶対に許さない態度の育成につながった。

取組の名称 児童会による「交流遊び」の取組

12月 休み時間

取組の名称 場所：西小学校体育館

【ねらい】

明るく楽しい学校づくりについて児童が主体的に考えることを通して、いじめを生まない風土の醸成を図る。

【概要】

児童会事務局が中心となり、全校児童が主体的に取り組む活動として、異学年による交流遊びを行った。第4～5学年で企画を考え、低学年が楽しめるよう、おにごっこ等を行うとともに、上級生が下級生に優しく接することを意識させ、相手を尊重する態度を養うことを目的とした。

【児童の感想】

6年生ばかりではなく、4、5年生も運営主体となって遊びを計画し、実施できたことにより、全校児童が仲よく楽しい学校生活を送ることができていると思う。これからも続けていってほしい。



【交流遊びの様子】

成 果 交流遊びの取組が、異学年の児童同士の交流の機会となり、上級生が下級生を気遣う姿が見られる等、他者を思いやる心の育成につながるとともに、いじめを生まない風土の醸成を図ることができた。

取組の名称 児童主体のいじめ根絶のための取組

通年

取組の概要 場所：清川小学校体育館等

【ねらい】

「思いやり運動」を通して、思いやりの心の大切さを実感させるとともに、いじめを許さない態度を育成する。

【概要】

児童が主体となって、「思いやり運動」を行った。月毎に目標を考えて朝会で説明するとともに、目標に沿ってポスターを作成し、全学級に掲示した。

また「スマイル委員会」では、学校をよりよくするための活動を考え、全校イベント等を行った。

【児童の感想】

学校全体のことや、下級生のことを考えてイベントをしたり、活動をしたりするのは難しかったけど、仲よくすることができ、笑顔が増えて良かった。



【思いやり目標の説明の様子】



【全校イベントの様子】

成 果 イベント内や目標を決める話し合いの中で、他者の立場に立った意見を多く見受けようになり、思いやりの心を育むことができ、いじめ根絶の意識を高めることができた。

取組の名称 児童会主体の「いじめ根絶集会」とスローガンの作成

12月23日（金）2校時

取組の概要 場所：広野小学校体育館

【ねらい】

いじめ根絶に係るスローガン等を作成することを通して、いじめは絶対に許さないという態度を育成する。

【概要】

児童会三役が中心となり、これからはいじめをなくしていくためにどうしたらよいかについて学級ごとに話し合い、いじめ根絶に向けたスローガンを作成した。

「いじめ根絶集会」を開き、各学級のスローガンを発表するとともに、最後に三役がいじめ根絶を宣言した。

【児童の感想】

スローガンは、みんなで知恵をしぼって意見を出し合った。これからはいじめが起らないように全校で仲よくしていきたい。



【集会活動の様子】



【スローガンを発表する様子】

成 果 スローガンの作成を行うことにより、児童のいじめ根絶に対する意識が高まったとともに、他者への思いやりの気持ちが深まり、学年を問わず、優しく接する様子が見られるようになり、いじめを絶対に許さないという基盤が築かれた。

取組の名称 児童会主体による「あいさつ運動」の取組
12月第1週

取組の概要 場所：大正小学校児童玄関

【ねらい】

「あいさつ運動」を通して、気持ちのよい学校生活を送ることで、いじめを生まない風土の醸成を図る。

【概要】

児童会事務局が主体となり、朝、児童玄関で「あいさつ運動」を行った。挨拶をした児童は、廊下に掲示してある用紙にシールを貼ることができ、全校で挨拶を積極的に行っていることを視覚化できるよう工夫した。

【児童の感想】

みんなで明るく挨拶をし、気持ちがよかった。普段、あまり話さない学年の人と挨拶をしてから、廊下でも話せるようになった。



【「あいさつ運動」の様子】



【シールを貼る様子】

成 果 たくさんの友達に元気に明るく声をかけようという気持ちが芽生え、明るく元気に過ごすことができたとともに、異学年の交流も深まり、お互いを大切にしようとする気持ちが育まれ、いじめを生まない風土の醸成が図られた。

取組の名称 「eye さつ運動」の取組
1月23日（月）～27日（金）

取組の概要 場所：愛国小学校児童玄関

【ねらい】

「eye さつ運動」を通して、お互いに気持ちよく学校生活を送り、いじめを生まない風土の醸成を図る。

【概要】

児童会事務局が中心となり、朝、玄関ホールや各教室において、目を合わせて元気に挨拶する「eye さつ運動」を実施した。

「eye さつ運動」を行う日時は事務局だよりで周知した。また、その日一番挨拶がよかった児童を事務局が選出し、給食時の校内放送で発表するとともに、賞状を渡し、挨拶への意欲を高めた。

【児童の感想】

みんなが目を合わせて大きな声で挨拶をしてくれるようになった。挨拶を通して、全校児童がより仲よくなったと感じた。

第2回 eye さつ運動!

日にち…1月23日～27日
時間…8時19～20分

この時間に各教室にまわります。
また、その日一番すてきなあいさつをした人をお昼の放送で紹介します。
賞状は、低学年から2人、中学年から2人、高学年から2人選ばれた人にわたします。

【事務局だより】

成 果 目と目を合わせた挨拶を心掛けることで、子ども同士のコミュニケーションが深まり、思いやりの気持ちをもって行動する児童の姿が見られるようになるなど、いじめの未然防止の充実を図ることができた。